

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

活動 かたちの特徴

活動スケジュール

3歳児クラス

影絵をみて、何の動物なのかを考え、絵と影絵を合わせてみる

環境をデザインする

●準備した物 影絵カード・台紙

日にち	令和7年6月12日
時 間	30 分
参加人数	15 人

探究活動を実践する

●活動内容

動物の名前や特徴を話す

影絵を体験する

●子どもたちの様子

影絵を見せて誰か尋ねられるとすぐに象と答え、「鼻が長いから」「尻尾が長いから」「足があるから」と動物の特徴が返ってくる。絵を見せると、「足が大きい」「目が小さい」と、影絵だけでは気づけなかった細かな特徴にも注目する姿があった。牛の影絵では、「ヤギかな？と思ったけど…あ〜牛だ！」と声に出して気づく様子が見られた。鳴き声は「モオ〜だよ」と即答する子の姿もあり、「あ！牛さん、女の子だ！」と気づいた子が声をあげると、周りからも「ほんとだ〜」と同様に気づく様子が見られた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

「ゾウ」や「キリン」は直ぐに特徴を見つけて「鼻が長い」「首が長い」など気づきがすぐ言葉で伝えることが出来ていたが、ラクダは“こぶ”という言葉がなかなか出て来ない様子があった。身近な動物だけでなく、普段あまり馴染みがない動物への興味にも繋がるレッスンだった。

講師より

影絵をきっかけに、動物の特徴に注目して発言する子どもたちの姿が多く見られた。影と絵を見比べる中で、細かな部分にも気づこうとする様子があり、見る力の育ちがうかがえた。また、友達の言葉や気づきをきっかけに、自分の考えを広げていく場面もあり、やりとりを通して探求が深まっていることが感じられた。今後もやりとりを大切にしながら、気づきや発見につながる関わりをしていきたい。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

活動 仲間分け

色・形で仲間分けをする

環境をデザインする

●準備した物 カード・台紙

活動スケジュール

4歳児クラス

日にち	令和7年6月12日
時 間	30 分
参加人数	15 人

探究活動を実践する

●活動内容

色、形で分けてみる

並べて比べる

●子どもたちの様子

たくさんのカードを前に、「どんなのがあるかな？」と聞くと、「丸！」「三角！」「四角！」「大きい四角！」と次々に形の名前を挙げていた。カードを仲間で分けてもらうと、「赤と青と黄色のグループにした！」「形で分けたよ！」「似たもの同士で分けたよ」など、自分なりの分類のしかたを言葉にして教えてくれる姿があった。台紙を使い、カードを並べる際には、ヒントを聞いて「ここだ！」とすぐに場所を見つける子がいたが、「どこかな？」と友達と相談しながら取り組む姿も見られた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

グループ分けをしてる際に、「同じ色で集めたよ！」「僕は同じ形で」など、それぞれが自分の思うグループに分ける事を楽しんでいた。大体が色、形のみでグループ分けしていたが形の大きさ毎に細かくグループ分けしている児も見られた。

講師より

子どもたちは、カードの仲間分けに意欲的に取り組み、それぞれの視点で分類したことを、言葉にして伝えようとする姿が見られた。自分なりの考えをもとに行い、友達と相談したり比較したりする中で、考えを深めていく様子があった。発見したことを安心して伝え合える雰囲気の中で、自ら考えようとする姿がみられており、今後もそうした環境づくりを大切にしながら、楽しんで考える経験を積み重ねていきたい。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： かず

活動 数の比較

数を比較して「同じ」「多い」「少ない」など比較を表す言葉の意味を理解する

環境をデザインする

- 準備した物 タイル

活動スケジュール

5歳児クラス

日にち	令和7年6月12日
時間	45 分
参加人数	15 人

探究活動を実践する

●活動内容

数の比べ方を考える

●子どもたちの様子

「どちらがいくつ多いか、調べるにはどうしたらいい？」と問いかけると、たくさんの手があがり、さまざまな方法が子どもたちから提案された。その都度みんなで試していくと、最終的に「カードは色ごとに一列に並べるとわかりやすい」とまとまった。一人ひとりに質問をしていく時も、子どもたちは自分の順番を静かに待ち、集中して取り組んでいた。どちらが多いか迷っていた子も、ホワイトボード上でカードを動かして考えることで理解が深まり、自信をもって答えを出すことができた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

どの色が何枚あるか、○色と□色を比べると何枚あるかを指で数えたり、ホワイトボードのタイルを操作したりと工夫して答えにたどり着いていた。何度も挑戦していくとタイルを動かさなくても出来るようになっていた。正解を導き出した際はテーブルの友だちと喜びを共感していた。

講師より

子どもたちは、数を比べる方法について自分たちで提案し合いながら、クラス全体で試し、確かめる姿が見られた。ホワイトボードを使って実際に動かしながら考える中で、数の違いに気づいたり、考えを共有したりする姿があった。自分の順番を待ち、集中して取り組む様子からは、落ち着きや意欲の育ちも感じられた。今後も、自分の考えを試したり、友達と考えを交わす経験を通して、数への関心をさらに広げていけるような関わりをしていきたい。